

2019年度 自己評価結果公表シート

富山短期大学付属みどり野幼稚園

1 本園の教育目標

- 1 心も体も健康でいきいきとした子ども
- 2 自分の思いや考えにもとづいて、園の生活に取り組む子ども
- 3 友だちと共に園の生活を楽しみ、意欲的に行動する子ども
- 4 身近な自然や人とのかかわりに心を動かし、感じたことや考えたことを素直に表現する子ども

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園型認定こども園としての運営初年度として

- ① 安全かつ安心できる生活と、幼児期にふさわしい経験の提供
- ② 教育課程等の見直し
- ③ 研修による保育者の資質向上

を柱とする。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

① 園運営	4月より幼稚園型認定こども園の運営を開始。給付体系の変化に伴い、事務書類等の変更や関係官庁との緊密な連絡が必要となった。多様な保育時間への対応をはじめ新園舎での保育内容等、すべてが新たな経験であり、その都度、園内で協議しながら運営をすすめることとなった。目前の対応に追われ、危機管理意識に欠ける点があったことは大きな反省点である。本年度の課題を整理し、次年度以降の運営につなげていきたい。
② 教育課程	昨年度末に、認定こども園としての生活を見通して作成した教育課程について、実際の教育・保育状況を踏まえながら、見直しを行った。個々の保育経験の違いをふまえて、全園児が育むべき力を獲得できるようPDCAの循環に努めた。より実態に即した教育課程の編成に向けて、取り組みを継続していきたい。
③ 保育指導	新園舎での保育開始に伴い、生活や遊びの環境と子どもの育ちを連関的に捉え、園内研修等で話合うことで、子どもたちが安全に自己実現を図ることのできる教育・保育の在り方を模索した。6月には公開保育を実施し、助言者の加藤繁美先生及び参加者から多くの示唆を得ることができた。
④ 幼児理解	マップ型記録やエピソード記録など、記録方法を工夫し、園内研修で意見交換するなかで、幼児理解を深めた。多忙な中でも、職員間の対話を重視し、一人一人の理解に努めた。
⑤ 健康・安全	富山市の保健指導内容を参考に、健康面のチェックや衛生面の配慮等に努め、必要な備品購入やチェック体制の充実を行った。新園舎での危険個所の確認に努め、必要な安全確保の措置を講じた。防災意識の向上に努め、保育指導や避難訓練等の充実を図った。

⑥ 子育て支援	<p>認定こども園として、2号家庭への保育（最大11時間）を実施するほか、1号家庭への預かり保育の実施内容を拡大した。また、保育参観や卒園式の実施にあたって、保護者が参加しやすい工夫を行った。保護者会や父親の会と協力し、親子で楽しむ機会の提供を行った。</p> <p>未就園児を対象とした子育てサークルを年間30回実施し、地域の子育て支援に努めた。</p>
⑦ 職員の研修及び資質向上	<p>私立幼稚園協会等主催の研修に加え、認定こども園として富山市等から紹介される研修プログラムもあり、各職員の研修機会が増加した。個々の学びに加えて、園内で担う役割上必要な知識・技能の習得に努めることができた。また、保育教諭だけでなく、業務補助の職員にも、子育て支援等に関する研修の機会をもうけた。本年度は公開保育の実施等もあり、園内研修の工夫・充実によって、各職員の資質向上につながった。</p>
⑧ 地域との交流	<p>新園舎完成を地域の方にお知らせする園舎内覧会を、野々上地区の獅子舞の日に合わせて実施した。近隣の多くの方にお越しいただき、温かい励ましの声をいただいた。また、園の親子と地域の方々がともに、園庭での獅子舞を楽しむことができた。</p> <p>昨年度より始めた地区老人会との交流会を、今年度も3月5日に実施することとした（コロナウイルスの関係により、中止）。</p>

4 自己評価のまとめ（課題）

4月より、新制度のもとでの園運営が始まったことに加え、10月には幼児教育の無償化による対応が必要になり、目前の対応に追われる結果となってしまった。一方で、認定こども園としての在り方について模索することで、新たな気づきや学びが多い1年でもあった。多様な保育時間の子どもに対する保育内容や保護者ニーズへの対応、園内の衛生環境や防災意識など、今年度の課題を整理することで、次年度以降の充実に努めていきたい。

5 次年度に取り組むべき課題

① 教育課程・指導計画、日課等の検討

新教育要領や教育保育要領をふまえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した、教育課程及び指導計画の作成を行う。また、多様な保育時間の子どもの生活を考え、個々の発達に配慮した日課の作成及び園の実態を反映した指導計画の作成を検討する。

② 健康で安全な生活と豊かな遊び環境の保障

感染症やアレルギーなど、健康や衛生面への対応を向上させる。
危機管理意識を持ち、安全な環境づくりや安全教育の充実を行う。同時に、子どもが主体的にかかわり、遊びや活動に没頭できる環境づくりを検討する。

③ 園の保育の質向上

個々の職員の研修の充実、園内研修の充実等により、園全体の保育力向上を図る。

④ 開かれた園づくり

卒園児やその家族、学園関係者等との交流を積極的に図ると同時に、子育て支援や地域交流を通して、開かれた園づくりに努める。